【本資料は、2026 年 10 月 28 日付で発表された Standard Chartered PLC Q3'26 Results（一部抜粋）の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータード PLC－2026 年度第 3 四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は報告ベースで表示しており、比較の対象は 2025 年度で為替変動の影響を除いたベースとしています。報告ベースの比較については 4 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズグループ最高経営責任者は次のようにコメントしました。

「当行グループは、2026 年第 3 四半期も好調な業績を達成しました。各事業分野で広範な成長が見られ、年初来の 1 株当たり利益は 27%増加しました。以前より、貿易、投資、資産形成における構造的転換が好機をもたらすと確信してきましたが、今回の業績は、当行グループがそれらの機会を確実に捉えていることを改めて裏付けるものです。業績の安定性の広がりは、当行の事業基盤の強さと規律ある実行力を反映しています。こうした実績を踏まえ、2026 年度の収益ガイダンスを上方修正することとしました。現時点で 2026 年度の RoTE を約 14%と予想しています。」

26 年度第 3 四半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は 25 年度第 3 四半期）

- 営業収益は、非経常的な項目 [2] を除くと、14%増収の 58 億ドルでした。
  - 純金利収入 [1]（NII）は 9%増の 30 億ドルとなり、取引量の増加とバランスシート構成の改善が寄与しました。
  - 非純金利収入 [1] は 19%増の 28 億ドルでした。勢いのあるウェルスソリューションやグローバルマーケッツが原動力となりました。
  - ウェルスソリューションは 26%の増収となり、インベストメントプロダクツとバンカシュアランスで広範囲な増収を達成しました。
  - グローバルマーケッツは、フロー収益と単発的な収益がともに二桁成長を達成したため、21%の増収となりました。
- 営業費用は、非経常的な項目 [2] を除いて、9%増の 34 億ドルとなりました。費用に対する収益の伸び率をプラスに維持する一方で、事業成長に向けて対象を絞った投資を行ったことが主な要因です。
- 信用減損は 9,800 万ドル減の 9,000 万ドルでした。コーポレート＆インベストメントバンキング（CIB）では純額で 2,400 万ドルの戻入となり、ウェルス＆リテールバンキング（WRB）ではほぼ横ばいの 1 億 1,400 万ドルの減損となりました。
- 税引前利益は 29%増の 23 億ドルでした。
- 有形株主資本利益率（RoTE）は 520bp 上昇して 15.7%となりました。
- 当行グループのバランスシートは引き続き強固で流動性が高く、十分に分散されています。特別要因調整後の顧客向け融資残高は前四半期比 4.1%増加し、特別要因調整後の顧客預金の残高は前四半期とほぼ同水準でした。
- リスク・アセット（RWA）は 2026 年 6 月 30 日時点から 18 億ドル増加して 2,633 億ドルとなりました。信用リスク・アセットは 29 億ドル増、市場リスク・アセットは 11 億ドル減、オペレーショナル・リスク・アセットは横ばいでした。
- 当行グループは引き続き強固な自己資本を有しており、普通株式等 Tier 1（CET1）比率は前四半期比 31bp 低下して 13.8%となりました。
- 1 株当たり有形純資産額は 2%増加して 17.26 ドルになりました。

ガイダンス

2026 年度の改訂後のガイダンスは以下の通りです。

- 営業収益の前年比増収率は、為替変動の影響および非経常的な項目 [2] を除くベースで、5%～7%の範囲を超える見通しです。
  - このうち、純金利収入 [1] は、為替変動による影響を除いたベースで前年比約 4%増加する見通しです。
- 費用収益比率は、非経常的な項目 [2] を除くベースで、約 60%となる見通しです。
- RoTE は約 14%になる見通しです。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。
本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区（香港）、マカオ特別行政区（マカオ）および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指します。
本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。
スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは、HKSE 02888 および LSE STAN.LN です。

1 純金利収入および非純金利収入は、トレーディング勘定の資金調達コスト、トレジャリー勘定の為替管理業務、ならびにトレーディング業務およびプライムサービス業務で預かり受けた担保金の利息に関して調整しています。純金利収入と非純金利収入の調整後ベースおよび報告ベースの内容は 4 ページに記載しています。
2 非経常的な項目：2026 年の年初からこれまでの非経常的な項目には、1,100 万ドルの非純金利収入と 7,100 万ドルの費用が含まれています。そのうち 2026 年第 3 四半期に含まれるのは 1,100 万ドルの非純金利収入と-300 万ドルの費用です。

【参考訳に関するご留意事項】 この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店（以下、「当行」と言います。）が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	26 年度第 3 四半期 （百万ドル）	25 年度第 3 四半期 （百万ドル）	増減[1] %
業績[6]			
営業収益	**5,781**	5,110	13
営業費用	**(3,411)**	(3,144)	(8)
信用減損	**(90)**	(188)	52
その他減損費用	**(7)**	(22)	68
関連会社利益／（損失）	**(23)**	10	nm
税引前利益	**2,250**	1,766	27
税金	**(488)**	(468)	(4)
当期利益	**1,762**	1,298	36
親会社株主に帰すべき利益	**1,757**	1,300	35
普通株主に帰すべき利益[2]	**1,504**	1,028	46
普通株主有形資本利益率（%）	**15.7**	10.5	520bps
費用収益比率（%）	**59.0**	61.5	250bps

	30.09.26 （百万ドル）	30.09.25 （百万ドル）	増減[1] %
バランスシートと資本			
総資産	**998,614**	913,650	9
総資本	**55,187**	53,220	4
普通株主に帰すべき平均有形株主資本[2]	**37,972**	38,878	(2)
顧客向け融資残高	**315,237**	285,127	11
顧客口座	**558,282**	526,284	6
リスク・アセット	**263,274**	258,378	2
総自己資本	**53,219**	52,531	1
総自己資本比率（%）	**20.2**	20.3	(12)bps
普通株式等 Tier 1	**36,442**	36,594	–
普通株式等 Tier 1 比率（%）	**13.8**	14.2	(32)bps
預貸率（%）[3]	**53.3**	50.7	260bps
流動性カバレッジ率（%）	**154**	151	300bps
レバレッジ率（%）	**4.6**	4.6	(1)bp

	26 年度第 3 四半期	25 年度第 3 四半期	増減[1]
普通株式 1 株当たりの情報			
1 株当たり利益[4]（セント）	**68.9**	44.5	55
1 株当たり純資産額[5]（セント）	**2,030**	1,952	4
1 株当たり有形純資産額[5]（セント）	**1,726**	1,684	2
自社株を除く発行済み普通株式数[7]（百万株）	**2,174**	2,293	(5)

1 資産、負債、リスク・アセット以外について、「増減」は改善／（悪化）を示します。総自己資本比率（%）、普通株式等 Tier 1 比率（%）、預貸率（%）、流動性カバレッジ率（%）、レバレッジ率（%）、費用収益比率（%）、普通株主有形資本利益率（%）については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージ・ポイントの差で示されています。

2 「普通株主に帰すべき利益（損失）」は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1（AT1）資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。

3 本比率の算出にあたっては、「顧客向け融資残高」の総額には、リバース・レポ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を含みませんが、「損益を通じて公正価値（FVTPL）で保有される顧客向け融資残高」は含みます。総顧客口座数は、FVTPL で保有される顧客口座を含んでいます。

4 利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。業績は報告対象期間終了までの 3 か月間のものです。

5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

6 本中間財務報告書における「業績」とは、英国において採用されている国際会計基準および国際財務報告基準に基づいて報告される金額を意味します。

7 2026 年 9 月 30 日現在の数値です。